



あすなろっこ



令和7年10月1日発行
社会福祉法人岡山こども協会
あすなろこども園

〒709-0802
岡山県赤磐市桜が丘西3-14-19
TEL (086) 955-5665



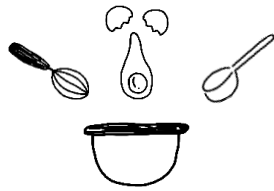
そら組キャンプを前に天気予報は雨。こどもたちは雨なんかに負けるものかと外に出て遠くに見える黒い雲を一生懸命に吹き飛ばそうと奮闘していました。5、6歳になるといろいろな知識もついてきて、自分たちではどうしようもできないことがあることに気づく子もいます。みんなで力を合わせてなんとか自分たちで雨雲を吹き飛ばそうとするこどもの純粋な姿をどう大人が受け止めていくのかを考えさせられました。「次はてるてる坊主をつくろうか!」と言える大人の心のゆとりがこどもの豊かな感性と創造力を育てていくのだと思います。純粋さに支えられたこどもたちの希望や思いを大切にしながら、成長を見守っていきたいです。

田村 胡桃

そら組キャンプに行きました。天気が心配でしたが、みんなで作ったてるてる坊主のおかげもあってなんとか外での活動時間は雨が降らず、ハイキングにも行くことができました。キノコを見つけたり虫を捕まえたりと自然を満喫しています。キャンプファイヤーでは、火の暖かさ、大切さを感じられた時間になりました。



きゅうしょくの じかん



～サクッともちい～ おからドーナツ



【材料・作りやすい分量】

- ・おから 250g
- ・薄力粉 150g
- ・三温糖 80g
- ・ベーキングパウダー 8g
- ・無調整豆乳 150～180ml
- ・サラダ油（揚げ油） 適量



URL: <https://youtu.be/V3w3gg2en4k>

【作り方】

※右横のQRコードを読み取って、見て下さいね♪

※豆乳は、おからの水分量で入れる量を調整してください。

今月のテーマ

～身体をつかって

おおきな“わ”
だより

はな組（0歳児）

「たくさん動けるようになったよ！」

ずりばいやハイハイ、歩行など子どもそれぞれが「ここに行ってみよう」と自分の興味のあるところへ自分の力で行く姿が室内に限らず戸外でも見られるようになりました。時には遠くまで散策に出掛け「お～い」と保育者を呼ぶ姿も増えています。また、室内あそびも以前は座って遊ぶ時間が長かったのですが、今ではつかまり立ちやずりばい、歩行など全身を使っています。

これから身体を動かしやすい季節がやって来ます。しっかり身体を動かす楽しさを子どもと一緒に感じたいです。

朝倉 満里奈



ゆき組（1歳児）

「まてまて～！」

保育者とのまてまてあそびが大好きな子どもたち。保育者に追いかけられると、にこにこ笑いながら一生懸命逃げたり途中で立ち止まってドキドキした表情でこちらを見たりと、かわいらしい姿がたくさん見られます。全身を使って思いきり遊ぶ中で、身体の使い方や相手との関わり方も少しずつ育ってきました。

これからも、全身を使ったあそびを通して、子どもたちとの楽しい時間を一緒に過ごしたいです。

内田 菜月



にじ組（2歳児）



「両足ジャンプ」

巧技台等を組み合わせるとよじ登ったり、両足ジャンプしたりして楽しんでいます。初めはジャンプをやってみようとするのが怖くて降りられない子が多かったので、低い巧技台から慣らし、少しずつ高くしていくとジャンプができるようになりました。また、タンバリンを用意するとジャンプをしながらたたいて楽しんでいます。まだジャンプが怖い子もいますが、保育者と手をつないでみたりお尻から降りてみたりしています。

身体を動かして一緒に楽しみながら、いろいろな身体の動きを促しています。

小山 柊哉

つき組（3歳児）



「楽しいな★しっぽとり」

園庭で思いきり走ることを楽しんでいます。以前から取り組んできた“しっぽとり”は、人気あそびの一つで、保育者がしっぽを付け始めると「これから走るぞ」と言わんばかりの様子です。保育者の「どうしたら、たくさんしっぽが取れるかな？」の問いに「手をいっぱい振る」と、子どもたちからの提案がありました。いざ、しっぽとりスタート。力強く手を振る姿は、すごくかっこよく、友だちの声をしっかり聞いているんだなと感じる瞬間でした。

“友だちと一緒に身体を動かすことが楽しいね”を感じられる活動を投げかけ、楽しい気持ちを共有していきたいです。

岩竹 笑利奈

「戸板登り」

久しぶりに園庭で戸板登りをやってみると、足が板にかけられなかったり、よじ登ることに不安を抱いたりする子がいました。しかし、取り組んでいる友だちの姿を見たり、周りの「がんばれ」という声を聞いたりすると、勇気をもらえたのか「やってみよう！」と挑戦！そして、上ることができると「嬉しい！もう一回！」と友だちと喜び合い、満足感でいっぱいの表情が多く見られました。

上手いかなくても友だちの力があることで、心も身体も大きく成長しているほし組です。

坂本 夕梨香

ほし組（4歳児）



そら組（5歳児）



「レッツ トライ☆」

そら組では跳び箱や鉄棒に挑戦しています。逆上がりや跳び箱4段に憧れを抱きながら、熱心に取り組んでいます。逆上がりでは何度も何度も挑戦するものの上手いかないとき、大人はつい手を貸したい気持ちになります。しかし、こどもの「自分でやりたい」気持ちを尊重して見守り続けていると、だんだん自分でコツをつかみ始める子や友だちからのアドバイスを聞く子が増え、できるようになってきました。

こどもの「できるようになりたい」という気持ちをしっかり受け止めたり、認めたりしていくことでこどもの自信につなげていきたいです。

田村 胡桃

学童クラブ

「ローリングストック大作戦」

9月は防災の月ということもあり、保存食のわかめごはんを食べました。自分たちでお米の硬さを調整しながらおかゆが食べたい子はお湯を足すなど自分好みのごはんを作っていました。他にもシーフードやおこめせんべいなど保存食を使ったクッキングを楽しみました。これからも防災と向き合いながら、いざという時のために備えておきたいと思います。

原 尚平



子育て支援センター



「高陽幼児クラブ “運動会あそび”」

高陽幼児クラブに出張保育に出かけました。今回は、“運動会あそび”をしてトンネルをくぐったり、坂を登って降りたりとしっかり身体を動かして楽しみました！子育て支援センターでは、幼児クラブの出張依頼も受け付けています。

土井 かおり



さか井おり (法人事務局)

岡山県といえば桃太郎伝説、というわけで実はこの伝説の前日譚と思わしき絵本が存在します。その名も『ももの里』。なぜ桃なのか、何処から来たのか、なぜ鬼退治なのかといった疑問が払拭される、かも。是非、子どもたちと読書の秋をひとつまみしてみてください。

小林 真依子

